

会議等名	平成27年度 第3回 海老名市公共施設再編計画策定委員会
日時	平成27年8月5日(水) 13:30~17:00
場所	海老名市役所 3F 政策審議室 その他現地
出席者	委員：藤田委員長、加藤(仁)委員、牛村委員、河野委員、佐々木委員、城向委員、山本委員 事務局：財務理事 清水 昭 財務部長 秦 恭一 財務部次長 鴨志田 政治 企画財政課長 伊藤 修 企画財政課政策経営係長事務代理 石田 恵美 企画財政課政策経営係主任主事 久保寺 規雄 傍聴者：なし
概要：	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 公共施設の現地調査 消防北分署、門沢橋保育園、市民活動センターを視察</p> <p>3 質疑</p> <p>(1) 消防北分署について</p> <p>《質疑・意見等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員からの改善要望はあるか。 →あまりないが、救急消毒室での隔離時にトイレが欲しいとの声がある。</li> <li>・会議室解放の経緯は →計画段階で地元から要望があったため、出勤時に事務所等に入れないようにするためのシャッターを追加し、解放エリアを明確にすることで地域開放を可能にした。</li> <li>・会議室の利用者はどのような方が多いか。 →地元の自治会や老人会などの利用があり、頻度は月に2回程度である。なお、会議室はあくまでも消防署による使用が主であり、空き時間があれば開放しているという位置づけであることや、予約できる期間が1ヶ月前から2週間前までと短期間のため、他施設の会議室と比べ利用しにくい状況もある。</li> <li>・利用料は有料か。 →無料である。今後、有料化する方針で検討しているが、緊急時には職員が全員いなくなるなど、安全管理の面でも課題があるため確定ではない。</li> <li>・海老名市、座間市、綾瀬市で消防通信指令センターを共同運営しているとのことであるが、将来的には消防業務の広域化を考えているのか。 →具体的な検討までは行っていないが、国も広域化を推進しており、将来的には広域化についても検討していくことになると考えている。一方で広域化するにはいろいろな課題がある。</li> <li>・消防通信センターの上司は誰になるのか(3市共同運用する場合命令系統がどうなっているのか)。 →海老名市、座間市及び綾瀬市消防通信指令事務協議会で運営を行っており、現在の協議会の会長は海老名市消防長となっているため、上司は海老名市長となる。</li> <li>・消防に限らず、広域で対応したほうが効率的と思われる業務も多く、そのような視点からの見直しも検討すべきである。</li> </ul>

<写真 会議室>



<写真 救急消毒室>



## (2) 門沢橋保育園について

### 《質疑・意見等》

- ・定員が60名となっているが、なぜ65名入所できるのか。  
→面積や職員数の条件を満足する必要があるが、制度上120%まで受け入れることができ、待機児童対策のため受け入れている。
- ・近年受け入れ人数が減ってきているがなぜか。  
→さまざまな要因の結果であると思われる。例えば、近年は2歳児以下のニーズが高くなっていることや、通勤時に海老名駅を利用する保護者が多いため、立地条件からは選ばれにくいこと等が要因として考えられる。
- ・1990年にリニューアルしたとしているがどこをリニューアルしたのか。  
→内装、水道、電気設備などをリニューアルした。また、耐震補強も完了している。
- ・建替を2036年としているが、どのような考え方で更新時期を定めているのか。  
→公共施設白書で設定したもので、建物構造から耐用年数を65年と設定しているが、あくまで目安である。
- ・建替については、物理的な耐用年数だけでなく、機能的劣化や社会的劣化についても考慮する必要がある。
- ・見学した結果、他の保育園と比べ老朽化が進んでおり、かなり厳しい状況であると感じている。子どものいる場所としてはどうかと思う。建替などについて検討していないのか。  
→現段階では個別の保育園の建替や統廃合などについての検討は行っていない。市では、「子ども・子育て支援事業計画」の中で、保育所は民間も含め、当面は整備を進め需要に応え、将来的には需要調整機能を果たすと位置づけている。現在は、ニーズ調査と平成27年度4月の入所実態の乖離を考慮し、今後の公立保育所のあり方を具体的に検討している。今年度中には市の南部地域における公立保育所のあり方の方針を出すことを目指している。
- ・現場の意見として建替などの希望はないのか。  
→子どもたちは広い園庭があるこの園を楽しんでいる。施設が新しくなることは理想ではあるが、広い園庭がこの園の特徴であり、残していきたい。

《管理上の特徴など》

- ・ 保育園は学校と違い、夏休みなどのまとまった工事時間を確保できないため、部分ごとに工事を行う必要があるため、工期が1年半から2年と長期にわたる。
- ・ 耐震工事の実施に際し、他の園と一括で工事発注してコスト縮減を図っている。

<写真 職員室>



<写真 1階廊下>



(3) えびな市民活動センターについて

《質疑・意見等》

- ・ ビナレッジのホールの利用状況について伺いたい。  
→ホールは、席を収納した状態での利用が多く、ダンスや中学校の吹奏楽部の練習などの利用が多い。
- ・ 会議室の利用状況は  
→時間で見れば空きがあるが、日単位で見れば稼働率が高い。また、202 会議室や 203 会議室など、料金が安い部屋の人気が高い。  
→1回の利用でも登録が必要になるため、ビナスポと合わせた登録団体数は約 1,200 となっている。
- ・ どのような団体の利用が多いのか  
→内訳は把握していないが、自治会等は限られるため、趣味やスポーツのサークルなど市民活動団体が大半と考えられる。公民館講座の OB グループの利用が多いと思われる。
- ・ ビナレッジおよびビナスポの収入はどのような状況か。  
→昨年 11 月にオープンしており、年間での結果は出ていないが、指定管理者と契約している収入予測は上回っている。上回った分については市に 30%還元されることとなっている。なお、小学校の水泳授業受け入れも見込んだ予測となっている。
- ・ 収入で施設の維持管理費などをまかなえているのか。収支状況を伺いたい。  
→次回以降の会議で情報提供できるようにしたい。

<写真 ビナレッジホール>



<写真 ビナレッジ 和室>



<写真 ビナレッジ 調理室>



<写真 ビナスポ プール>



<写真 ビナスポ トレーニングルーム>



<写真 ビナスポ 大多目的室>



以上